

信頼性向上のための技術的課題に関するシンポジウム開催

JISA技術委員会・ソフトウェアエンジニアリング部会・信頼性WGは、平成24年3月1日、JJK会館にて「信頼性向上のための技術的課題に関するシンポジウム」を開催した。参加者は77名。JISAは業界の構造改革の取組として、ユーザとのパートナーシップの構築を目指しており、今回のシンポジウムはその一環で企画されたものである。

はじめに、細川泰秀氏((社)日本情報システムユーザー協会)より、「ユーザはベンダに何を期待するか」と題する講演が行われた。細川氏は豊富なデータをもとに、「日本の産業が世界に伍していくためにITの活用が不可欠であり、日本の優れた開発力や運用力を武器にグローバルに進出せよ」との論を展開した。

次に、横塚裕史氏(東京海上日動システムズ(株))より「信頼性向上の取組とユーザへの期待」と題する講演が行われた。横塚氏は、新しいビジネスモデルを作らなければグローバル競争には勝てないし、ITなくしては新しいビジネスモデルはできないと主張した。ベンダも従来の価値や常識を大きく変える必要があるとして、例えば品質の考え方について、トラブル／生産量を極小化するという考え方から、ビジネスの成果／生産量を極大化するという考え方を提示した。小さなトラブルにこだわるよりも、お客様の価値・スピードを重視する考えで品質を捉えても良いのではないかという考えである。両氏ともベンダが勝ち抜くためには、発想の転換や思い切った変革が必要と説いた。

最後は、「ユーザからの信頼性獲得のための課題と技術的改善の提案」と題してパネルディスカッションが行われた。司会は、加々美利彦氏((株)科学情報システムズ)、パネリストは、佐藤正人氏(DNP情報システムズ)、上野大輔氏((株)DTS)、端山毅氏(NTTデータ)の3名。戦略立案段階からベンダが参画すること、また要件定義からテスト段階でのユーザとベンダの連携すること等をテーマに、これまでの経験に裏打ちされた意見と、様々な立場を反映した議論が行われた。

終了後、場を移して情報交換パーティが行われた。

(尾股)